



平成25年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成24年7月4日

上場会社名 株式会社 イズミ 上場取引所 東大
 コード番号 8273 URL http://www.izumi.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山西 泰明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務経理部長 (氏名) 川西 正身 (TEL) 082(264)3211
 四半期報告書提出予定日 平成24年7月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有・ 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 有・ 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年2月期第1四半期の連結業績（平成24年3月1日～平成24年5月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年2月期第1四半期	128,078	3.4	6,349	7.9	6,125	7.7	3,718	93.8
24年2月期第1四半期	123,822	2.0	5,885	20.0	5,688	21.9	1,918	△4.6

(注) 包括利益 25年2月期第1四半期 3,534百万円 (△19.4%) 24年2月期第1四半期 4,382百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年2月期第1四半期	46 15	—
24年2月期第1四半期	20 14	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年2月期第1四半期	379,809	125,841	29.7
24年2月期	370,377	125,389	30.3

(参考) 自己資本 25年2月期第1四半期 112,634百万円 24年2月期 112,302百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1 四半期末	第2 四半期末	第3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年2月期	—	8 00	—	12 00	20 00
25年2月期	—	—	—	—	—
25年2月期(予想)	—	12 00	—	12 00	24 00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有・ 無

3. 平成25年2月期の連結業績予想（平成24年3月1日～平成25年2月28日）

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	262,000	4.6	12,500	5.6	11,800	3.3	6,100	24.4	75 42
通 期	536,000	3.9	28,000	15.4	26,700	13.4	14,500	31.1	179 27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有・ 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有・無
新規 ー社 (社名) ー、除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有・無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有・無
② ①以外の会計方針の変更 : 有・無
③ 会計上の見積りの変更 : 有・無
④ 修正再表示 : 有・無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	25年2月期1Q	80,886,320株	24年2月期	95,273,420株
② 期末自己株式数	25年2月期1Q	1,227,167株	24年2月期	14,390,035株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	25年2月期1Q	80,577,285株	24年2月期1Q	95,270,487株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、7ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	5
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	7
2. サマリー情報(その他)に関する事項	7
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	7
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	7
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	7
3. 四半期連結財務諸表	8
(1) 四半期連結貸借対照表	8
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	10
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12
(4) 継続企業の前提に関する注記	13
(5) セグメント情報	13
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	14
(7) 重要な後発事象	14

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間(以下、当四半期)のわが国経済は、東日本大震災後の復興需要が内需を支えし、所得や雇用の情勢は堅調に推移しました。しかしながら、欧州債務問題の再燃や金融市場の混乱、電力供給制限や消費税増税への懸念などから先行きへの不安が高まってまいりました。

当社グループにおいては、創業50周年の節目を迎えた前年度に続き、当年度を更なる飛躍を遂げる新たなスタートの年と位置づけており、お客様満足の向上と一段の企業成長、企業体質の強化を目指して、経営・業務の革新にスピードをもって取り組みました。特に、お客様の視点でご提供する商品の価格・品質を見直して需要の変化に対応するとともに、人材の活性化によるお客様向けサービスの向上に努めました。また、店舗面では、小商圈型業態の積極出店に向けた準備を重ねてまいりました。

これらの結果、営業成績は以下のとおりとなりました。

	前四半期 (H23年3月～H23年5月)	当四半期 (H24年3月～H24年5月)	増減(金額)	増減(率)
営業収益	123,822百万円	128,078百万円	4,256百万円	3.4%
営業利益	5,885百万円	6,349百万円	464百万円	7.9%
経常利益	5,688百万円	6,125百万円	437百万円	7.7%
四半期純利益	1,918百万円	3,718百万円	1,800百万円	93.8%

主な増減要因

①営業収益及び売上総利益

営業収益のうち、売上高は前年同期比3,987百万円(3.4%)増加し、121,961百万円となりました。この増加は、主に前年第3四半期に新設した「ゆめタウン徳島」によるものです。

営業収入は、テナント数増加に伴う共同管理費収入の増加等により、前年同期比268百万円(4.6%)増加し、6,117百万円となりました。

売上総利益は、25,861百万円(前年同期比275百万円増)となりました。売上高対比では21.2%となり前四半期に比べて0.5ポイント低下しました。この低下は主に、相対的に売上総利益率が低いテナント部門において、前年第3四半期の「ゆめタウン徳島」の新設や既存店舗での堅調な販売実績によって、全社売上高に占める構成比が高まったことによるものです。

②販売費及び一般管理費並びに営業利益

販売費及び一般管理費は、人的生産性の改善による人件費の抑制や広告宣伝費等諸経費の節減に努めたこと等により、25,629百万円と前年同期比79百万円の増加に留まりました。売上高対比で21.0%となり前四半期に比べて0.6ポイント低下しました。

これらの結果、営業利益は前年同期比464百万円(7.9%)増加の6,349百万円となりました。売上高対比は5.2%と前四半期に比べて0.2ポイント改善しています。

③営業外損益及び経常利益

営業外収益は受取利息等の減少により前年同期比54百万円減少の309百万円となった一方、営業外費用は支払利息の減少等により前年同期比27百万円減少の533百万円となりました。

これらの結果、経常利益は前年同期比437百万円(7.7%)増加の6,125百万円となりました。売上高対比は5.0%と前四半期に比べて0.2ポイント改善しています。

④特別損益、法人税等、少数株主利益及び四半期純利益

特別利益は26百万円となりました(前年同期比2,514百万円減少)。なお、前四半期は自己株式消却に伴う有価証券売却益2,518百万円等を計上しています。一方、特別損失は固定資産除却損等を83百万円を計上しました(前年同期比1,922百万円減少)。なお、前四半期は資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額1,844百万円等を計上しています。

法人税等は、繰延税金資産の減少等により2,212百万円となりました(前年同期比577百万円増加)。

少数株主利益は137百万円となりました(前年同期比2,532百万円減少)。なお、前四半期は自己株式消却に伴い、有価証券売却益と同額の2,518百万円等を計上しています。

これらの結果、四半期純利益は前年同期比1,800百万円(93.8%)増加の3,718百万円となりました。売上高対比は3.0%と前四半期に比べて1.4ポイント改善しています。

⑤その他

当四半期において、前期末時点で保有していた自己株式14,387千株を消却しました。この結果、発行済株式総数は80,886千株となりました(前期末対比15.1%減少)。

また、当四半期において新たに自己株式を1,224千株取得しました(消却後の発行済株式総数の1.5%に相当)。これらの効果も加わり、当四半期の1株当たり四半期純利益は46.15円(前年同期比26.01円増)となり、当四半期末の1株当たり純資産は1,413.95円(前期末対比25.50円増)となりました。

各セグメントの業績

■営業収益

	前四半期 (H23年3月～H23年5月)	当四半期 (H24年3月～H24年5月)	増減(金額)	増減(率)
小売事業	122,178百万円	126,832百万円	4,653百万円	3.8%
小売周辺事業	8,077百万円	7,754百万円	△322百万円	△4.0%
その他	1,190百万円	1,233百万円	42百万円	3.6%
調整額	△7,623百万円	△7,741百万円	△117百万円	－%
合計	123,822百万円	128,078百万円	4,256百万円	3.4%

■営業利益

	前四半期 (H23年3月～H23年5月)	当四半期 (H24年3月～H24年5月)	増減(金額)	増減(率)
小売事業	4,856百万円	5,428百万円	572百万円	11.8%
小売周辺事業	758百万円	683百万円	△74百万円	△9.8%
その他	239百万円	201百万円	△38百万円	△16.1%
調整額	31百万円	35百万円	4百万円	14.3%
合計	5,885百万円	6,349百万円	464百万円	7.9%

①小売事業

当社グループの中核事業である小売事業では、引き続き「いいものを安く」をスローガンに掲げ、商品構成の見直しや原価低減、店舗運営コストの引き下げに取り組まれました。特に、今後推し進めてゆく小商圈型店舗の展開を視野に入れ、食品にドラッグを併設した売場展開による集客力の増加や人員の多能化によるローコスト化を目指した取り組みを行いました。また、衣料品部門では、中小型店舗における収益性の向上を図るべく、低価格化と同時に対象年齢の若返りやアイテム数等の見直しを行いました。

さらに直営各部門においては、前期に引き続き新規事業の開発を進め、駄菓子やペット等のショップ展開により店舗競争力の改善に努めました。一方、テナント部門においては、テナント構成を積極的に見直し、競争力の高い有力テナントの導入により店舗全体の集客力の向上を図りました。

これらの取り組みに対して、販売動向は、3～4月においては前四半期における震災特需の反動減を吸収し堅調に推移しましたが、5月においては夏物商材への需要が盛り上がり欠け伸び悩みました(当社の3月～5月の既存店売上高は前年同期比0.8%減となりました。)。しかしながら、前年第3四半期に新設した「ゆめタウン徳島」の寄与により、売上高は増収を確保しました。

コスト面では、前期より店舗における後方在庫削減や作業方法の見直しを行うことで生産性や商品鮮度・値下ロスを改善させてまいりましたが、その成果の定着と全店的な水平展開を図るとともに、一段の改善効果を目指した次段階の取り組みを試みました。さらに、販促コスト等諸経費につきましても、費用対効果を見定め、節減に努めました。

これらの結果、当事業の営業収益は126,832百万円(前年同期比 3.8%増)、営業利益は5,428百万円(前年同期比 11.8%増)となりました。

②小売周辺事業

小売周辺事業では、貸金業法改正の影響によるキャッシング収入の減少が継続する中、前年に引き続きショッピング時のクレジット利用拡大や電子マネー「ゆめか」の利用拡大による手数料収入の増大に努めました。しかしながら、当事業の一部において他セグメントとのグループ間取引の条件見直しを進めた結果、当事業の営業収益は7,754百万円(前年同期比 4.0%減)、営業利益は683百万円(前年同期比 9.8%減)と減収減益となりました。

③その他

卸売業務では、衣料品需要が伸び悩むなか、積極的な価格対応により増収を確保しつつも利益水準は低下しました。また、不動産賃貸業務では、安定した賃料収入を計上した一方で、既存設備の修繕費用を計上しました。

これらの結果、当事業の営業収益は1,233百万円(前年同期比 3.6%増)、営業利益は201百万円(前年同期比 16.1%減)となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末(以下、当四半期末)における資産、負債及び純資産の残高、及び前期末対比の増減額と主な増減理由は以下のとおりです。

	前期末 (H24年2月29日)	当四半期末 (H24年5月31日)	増減
総資産	370,377百万円	379,809百万円	9,431百万円
負債	244,987百万円	253,967百万円	8,980百万円
うち有利子負債	158,106百万円	172,720百万円	14,614百万円
純資産	125,389百万円	125,841百万円	451百万円

総 資 産

- ・当四半期の設備投資額は10,255百万円であり、これは主に店舗新設予定土地及び本社移転予定土地の取得によるものです。その結果、有形固定資産は、減価償却実施後で6,988百万円増加しました。
- ・受取手形及び売掛金は、クレジット取扱高の増加により、1,959百万円増加しました。

負 債

- ・未払法人税等は、当四半期中の納付により、4,037百万円減少しました。
- ・有利子負債は、設備資金及び自己株式取得資金に充当するため、14,614百万円増加しました。
- ・流動負債その他は、前年第3四半期に新設した「ゆめタウン徳島」に係る設備未払金の資金決済等により、3,610百万円減少しました。

純資産

- ・利益剰余金は、内部留保額が上積みされた一方で、保有自己株式の消却原資に充当したため、14,885百万円減少しました。
- ・自己株式は、当四半期中に 1,224千株を取得した一方で、前期末時点で保有していた14,387千株を消却したことにより、15,541百万円減少しました。
- ・これらの結果、自己資本比率は29.7%となり、前期末の30.3%に比べて0.6ポイント低下しました。

②キャッシュ・フローの状況

当四半期におけるキャッシュ・フローの状況は以下のとおりです。

	前四半期 (H23年3月～H23年5月)	当四半期 (H24年3月～H24年5月)	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,783百万円	2,530百万円	△1,252百万円
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,621百万円	△13,757百万円	△11,136百万円
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,093百万円	11,352百万円	14,445百万円

営業活動によるキャッシュ・フロー

- ・主な収入項目は、税金等調整前四半期純利益 6,068百万円、減価償却費 3,231百万円です。
- ・主な支出項目は、法人税等の支払額 5,845百万円、たな卸資産の増加額 1,301百万円です。
- ・営業活動によるキャッシュ・フローは、前四半期と比較すると1,252百万円減少しました。これは主に法人税等の支払額及びたな卸資産の増加額が前四半期末に比べて増加したこと、並びに仕入債務の増加額が前四半期末に比べて減少したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー

- ・主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出 13,224百万円です。これは主に、前年新設店舗に係る設備未払金の決済や今後の店舗新設予定土地及び本社移転予定土地の取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー

- ・主な収入項目は、短期借入金の純増 12,040百万円及び長期借入れによる収入 7,500百万円です。これらの資金は、設備投資及び自己株式取得資金に充当しています。
- ・主な支出項目は、長期借入金の返済 4,975百万円及び自己株式の取得 2,092百万円です。

以上の結果、現金及び現金同等物の残高は、前期末対比 124百万円増加し、6,385百万円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

- ・当期の連結業績予想について、現時点においては平成24年4月9日公表の予想数値に変更ありません。
- ・新規出店として、6月20日に既存商業施設(おのだサンパーク)の核テナントとして「ゆめタウン小野田」(山口県山陽小野田市、店舗面積 約8,000㎡)を開店しました。また、6月28日に小商圈型で毎日の生活に欠かせない商品を競争力ある価格帯でご提供する「youmeマート(ゆめマート)小倉東」(福岡県北九州市、店舗面積 約2,700㎡)を開店しました。
- ・6月1日から6月12日にかけて自己株式 800千株を取得しました。これにより、現時点の自己株式数は2,027千株(連結ベース。発行済株式総数の2.5%に相当。)になりました。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,260	6,385
受取手形及び売掛金	20,323	22,282
商品及び製品	20,677	21,966
仕掛品	17	24
原材料及び貯蔵品	267	272
その他	14,324	13,498
貸倒引当金	△830	△818
流動資産合計	61,040	63,611
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	139,428	137,307
土地	121,051	128,049
その他(純額)	8,410	10,522
有形固定資産合計	268,891	275,880
無形固定資産	7,059	6,861
投資その他の資産		
その他	34,172	34,232
貸倒引当金	△786	△776
投資その他の資産合計	33,385	33,456
固定資産合計	309,336	316,197
資産合計	370,377	379,809
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	21,715	22,901
短期借入金	32,025	44,065
1年内返済予定の長期借入金	23,969	23,250
未払法人税等	6,179	2,142
賞与引当金	1,482	2,572
役員賞与引当金	62	0
ポイント引当金	1,584	1,659
商品券回収損失引当金	53	53
その他	15,851	12,240
流動負債合計	102,924	108,886
固定負債		
長期借入金	101,605	104,849
退職給付引当金	6,070	6,093
役員退職慰労引当金	962	1,155
利息返還損失引当金	482	456
資産除去債務	6,796	6,829
その他	26,145	25,696
固定負債合計	142,063	145,081
負債合計	244,987	253,967

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年2月29日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	19,613	19,613
資本剰余金	22,282	22,282
利益剰余金	87,555	72,670
自己株式	△17,043	△1,502
株主資本合計	112,407	113,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	214	△98
為替換算調整勘定	△319	△330
その他の包括利益累計額合計	△105	△429
少数株主持分	13,087	13,207
純資産合計	125,389	125,841
負債純資産合計	370,377	379,809

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
売上高	117,973	121,961
売上原価	92,387	96,099
売上総利益	25,586	25,861
営業収入	5,849	6,117
営業総利益	31,435	31,979
販売費及び一般管理費	25,550	25,629
営業利益	5,885	6,349
営業外収益		
受取利息	56	38
仕入割引	99	96
その他	206	174
営業外収益合計	363	309
営業外費用		
支払利息	493	479
その他	67	53
営業外費用合計	561	533
経常利益	5,688	6,125
特別利益		
固定資産売却益	—	21
有価証券売却益	2,518	—
その他	22	4
特別利益合計	2,540	26
特別損失		
固定資産除却損	103	70
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,844	—
その他	58	12
特別損失合計	2,005	83
税金等調整前四半期純利益	6,223	6,068
法人税、住民税及び事業税	2,024	1,900
法人税等調整額	△388	311
法人税等合計	1,635	2,212
少数株主損益調整前四半期純利益	4,588	3,856
少数株主利益	2,669	137
四半期純利益	1,918	3,718

四半期連結包括利益計算書
第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,588	3,856
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△200	△309
為替換算調整勘定	△5	△11
その他の包括利益合計	△205	△321
四半期包括利益	4,382	3,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,723	3,394
少数株主に係る四半期包括利益	2,658	140

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年3月1日 至平成23年5月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年3月1日 至平成24年5月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	6,223	6,068
減価償却費	3,304	3,231
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,844	—
貸倒引当金の増減額(△は減少)	59	△22
受取利息及び受取配当金	△84	△54
支払利息	493	479
有価証券売却損益(△は益)	△2,518	—
持分法による投資損益(△は益)	△12	△12
固定資産売却損益(△は益)	0	△21
固定資産除却損	103	70
売上債権の増減額(△は増加)	△2,088	△1,959
たな卸資産の増減額(△は増加)	△898	△1,301
仕入債務の増減額(△は減少)	1,589	1,186
その他	1,123	1,021
小計	9,139	8,687
利息及び配当金の受取額	78	53
利息の支払額	△400	△364
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△5,034	△5,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,783	2,530
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△3,010	△13,224
有形固定資産の売却による収入	0	307
無形固定資産の取得による支出	△143	△95
投資有価証券の取得による支出	△0	△191
短期貸付金の増減額(△は増加)	590	△200
その他	△57	△352
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,621	△13,757
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,585	12,040
長期借入れによる収入	900	7,500
長期借入金の返済による支出	△5,666	△4,975
自己株式の取得による支出	△0	△2,092
配当金の支払額	△762	△970
少数株主への配当金の支払額	△20	△20
その他	△129	△129
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,093	11,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△0
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△1,931	124
現金及び現金同等物の期首残高	12,316	6,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	※ 10,384	※ 6,385

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

1 前第1四半期連結累計期間(自 平成23年3月1日 至 平成23年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	小売事業	小売周辺 事業	計				
営業収益							
外部顧客 への営業収益	119,568	3,471	123,039	783	123,822	—	123,822
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	2,609	4,606	7,216	407	7,623	△7,623	—
計	122,178	8,077	130,255	1,190	131,446	△7,623	123,822
セグメント利益	4,856	758	5,614	239	5,854	31	5,885

(注1) 「その他」の区分は、衣料品などの卸売事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額 31百万円は、セグメント間の未実現利益の調整額等を含んでおります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2 当第1四半期連結累計期間(自 平成24年3月1日 至 平成24年5月31日)

報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			その他 (注1)	計	調整額 (注2)	四半期連結 財務諸表 計上額 (注3)
	小売事業	小売周辺 事業	計				
営業収益							
外部顧客 への営業収益	122,904	4,337	127,241	836	128,078	—	128,078
セグメント間の内部 営業収益又は振替高	3,927	3,417	7,344	396	7,741	△7,741	—
計	126,832	7,754	134,586	1,233	135,819	△7,741	128,078
セグメント利益	5,428	683	6,112	201	6,313	35	6,349

(注1) 「その他」の区分は、衣料品などの卸売事業等を含んでおります。

(注2) セグメント利益の調整額 35百万円は、セグメント間の未実現利益の調整額等を含んでおります。

(注3) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当社は、当第1四半期連結累計期間において、会社法第178条の規定に基づき自己株式14,387千株を消却するとともに、会社法第165条第3項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき自己株式1,224千株を新たに取得しております。これらにより利益剰余金が17,633百万円、自己株式が15,541百万円減少いたしました。

(7) 重要な後発事象

当社は、平成24年5月24日開催の取締役会決議による会社法第165条第3項の規定による読み替えて適用される同法第156条の規定に基づく自己株式の取得について、以下のとおり実施しております。

(決議内容)

取得の目的	経営環境の変化に対応した機動的な資本政策を遂行するため
取得する株式の種類	当社普通株式
取得する株式の総数	800,000株(上限)
取得価額の総額	1,600百万円(上限)
取得期間	平成24年6月1日から平成24年7月31日まで

(取得実績)

取得株数	800,000株
取得価額	1,276百万円
取得期間	平成24年6月1日から平成24年6月12日まで